

令和4年度 板野高等学校 第3回学校運営協議会協議会 議事録

1 日 時

令和5年2月24日（金） 午後2時30分時から午後4時まで

2 場 所

板野高等学校 会議室

3 会 議

(1) 開会

(2) 会長挨拶(四国大学 生活科学部 上岡教授)

本日は授業参観があり、協議の前に学校の実態が拝見できることになり、委員の先生方には忌憚のないご意見をいただきたい。

コロナも落ち着かない状況で、5/8から第5類に移行する方針が出されているようだが、第5類に移行することによってまた難しい問題もあるかもしれないが、現状を踏まえて今後につながるご協議をいただければと思う。

(3) 学校長挨拶

本年度もコロナウィルス感染性に苦慮した1年であったが、過去2年間中止してきた様々な行事について、本年度は感染対策の工夫をしたり、多少規模を小さくしたりしながらできる限り実施することができた。

特に板野高校の伝統的な取り組みであるお接待を3年ぶりに実施でき、先日、1年生対象のインターンシップ、2年生の北海道への修学旅行も3年ぶりに実施でき、当初は心配もしたが、関係の方々や保護者の方のご理解ご協力いただいて実施することができ、感謝している。

一方で、卒業式や4月からのマスクの取り扱いに関して国の通知により「マスクを外すことを基本とする」という方向へ大きく方針が変わってくる。生徒、保護者の理解が必要である。先日文書で説明したとおり、円滑な卒業式が実施できるよう、4月からの教育活動が実施できるようにしていきたい。

また、新型コロナウイルス感染症が5類になるということで、新たな留意点が必要になるが、教育活動の制限がなくなっていく方向であることには喜ばしく思っている。

本日は、委員の皆様から直接ご意見をいただける機会であるので、忌憚のないご意見をたまわりたい。学校の状況や学校評価についても説明があるので、ご指導ご助言をいただきたいと思う。

(4) 授業参観(14:40~15:00 21HR 英語表現 津田教諭)

MetaMoJiClassRoom を用いて、修学旅行の思い出を英文で書いたり、写真を貼り付けたりする作業に取り組んだ。完成できた生徒から発表してもらった。

(5) 協議

① 学校状況報告(概要)について

○令和4年度学校方針

- ・スクールミッションについて
- ・本年度重点目標

1 基本的な生活習慣の確立

問題行動等で指導された生徒あり。引き続き指導、集会での周知を行う。

- 2 GIGA スクール構想の実現
通信の課題もあるが、できるだけ生徒が主体的に活用できるようにする。
- 3 基礎学力の定着とキャリア教育の推進
習熟度別での授業を行っている。生徒の減少に伴い、教員の数も減少しているが、できるだけ維持していきたい。
- 4 主権者教育・消費者教育の推進
選挙管理委員会から借りた投票箱を使った模擬選挙，消費者情報センターの講演会を行なった。
- 5 コミュニティースクールの充実
来年度も年3回実施予定
- 6 働き方改革の推進
タブレットを用いたアンケート，ペーパーレス化の推進，出前授業の活用
- 7 情報発信
ホームページでの発信：年250回更新した。
「あわ(OUR)教育発表会」を YouTube で発信

来年度の重点目標

- ・基本的な生活習慣の確立
- ② インターンシップについて
 - <写真・ビデオを映しながら説明>
 - ・スクールポリシーにある早期に勤労観や職業観の育成を図る目的でインターンシップを実施
 - ③ 令和4年度学校評価三者間比較について

令和4年度学校評価三者間比較の説明を行った。

- 項目1 目的意識を持って学校生活を送っている。
教員と生徒・保護者間で意識のずれが見られる。
- 項目2 習熟度別での授業等の教育課程が充実している。
教員・生徒・保護者とも「よく当てはまる」が多数。
- 項目3 身だしなみ、挨拶がよくできている。
教員と生徒・保護者間で意識のずれが見られる。
- 項目4 インターンシップは有意義である。
三者とも、肯定的な意見が高い。
- 項目5 学業と部活動を両立し、努力し続けている。
特に教員からまだまだできていないという意見が多い。
- 項目6 学校の施設・設備は、充実している。
三者とも「よく当てはまる」の割合が低い。
- 項目7 本校の人権学習は充実している。
高い支持を得ているので、継続していきたい。

- 項目 8 本校の部活動や生徒会活動は、活発に行われている。
高い支持を得ているので、継続していきたい。
- 項目 9 朝の読書(朝読)は、生徒にとって有意義である。
生徒に関心が見られない。朝読の意義について理解させていきたい。
- 項目 10 学校には、気軽に相談や質問ができる教職員がいる。
教員の意識が高いが、生徒はそれほど高くない。
- 項目 11 現在、ICT の活用による学習活動は効果的に行われている。
特に教員が高い支持を示しているが、生徒・保護者が実感できていない。
- 項目 12 学校の生活に満足している。
三者とも評価をしている。今後も維持、継続していきたい。
- 項目 13 地域へ奉仕する清掃活動などボランティア活動は充実している。
「当てはまる」多数。さらに評価を高めていきたい。

4 各委員からの提言等について

○手塚委員代理（藍住中学校）

（授業についての感想）

個人的には本ノートの読み書きが良いが、タブレットの活用が今では必要である。大学や専門学校の出願の際、ほとんどの場合がネット出願である。募集要項もネット上にあるので、使いこなせないと進路決定にも影響がある。生徒が黙々と作業しており、非常によかった。

（安藝教頭）特に、若い教員が積極的に使いこなしている。生徒も技量が高い。

○大石委員（穴吹カレッジ）

三者間比較で「3 頭髪・服装など身だしなみがきちんとできている。」「1 目的意識を持って学校生活を送っている」に関する教員の評価が低い。

（馬場教頭）

一部のできていない生徒がいることで、自分たちに対して低評価をしてしまうのではないか。

○井内委員（板野町教育委員会教育次長）

インターンシップで様々な職場に行って体験をすることは、非常に有効であると感じた。

（安藝教頭）本校のスクールポリシーでもあり、生徒の満足度も高い。

○松本委員代理（板野中学校）

板野中学でもタブレットを活用して授業や働き方改革に役立っている。英語の授業で web の翻訳サイトを利用しており、先進的な授業だった。ただ、「11 ICT の活用による学習活動は効果的に行われている。」は教員・生徒・保護者の意識の差がある。（ツブブロックの基準のプリントを見て）学校の先生は苦勞しているのではないか。「10 学校には、気軽に相談や質問ができる教職員がいる」について生

徒・保護者が低いので、それに対する対策はどうしているか。

(馬場教頭) 現在具体的な対策はできていないが、生徒への普段からの声かけが必要
(安藝教頭) 生徒との信頼関係の構築が必要

○松本委員代理(板野町子ども家庭総合支援センター)

①(青パトでのパトロールの際)自転車スマホ,歩きスマホが危険。コンビニでのたむろや喫煙の指導は見られなくなった。

②教育相談について

ヤングケアラーの問題「誰にも相談したことがないという生徒」2.3%と多数。

アンケート等一步踏み込んだ支援が必要

(安藝教頭) 生徒に寄り添った支援を充実していきたい

○犬伏委員(PTA顧問)

遅刻・欠席の理由について、わかっているのか?

(馬場教頭) 担任がまめに連絡しているので、把握している。

タブレットの活用について制限を設けているか?

(松浦) iフィルターを活用して、不適切なサイトにはアクセスできないようになっている。

上岡会長から総括が行われた。

○授業について

マルチタスクが求められる授業,生徒の処理能力が高い。

○ヤングケアラー問題について

家の手伝いの範疇なのかどうか,どこで線引きするのが難しい。本人の時間がどれだけ縛られているのかが必要。

○三者間学校評価について

「3身だしなみ,挨拶がよくできている」の項目で身だしなみ,挨拶どちらか一方しかできていないと迷った生徒もいたと思う。

○体験学習について

コロナ禍でオンラインが主流になってきたが,体験があるのとないのでは職業選択の進み方が変わってくる。ウィズコロナの時代でもどんどん体験をさせるべきである。

○マスクについて

マスクを外すかどうかについての問題も出てくるのではないか。そのときに他者との関わり方を考える必要あり。

(6) 閉会